2022年度

河内長野市大師町·日東町地区

実証実験ご報告会

千葉大学予防医学センター

本日の内容

- 2021年度調査のふりかえり
- ・2022年度 実証実験の効果検証結果
 - 1. 実証調査の背景・目的
 - 2. 電動カートによる移動支援と健康の関係図
 - 3. 電動カート利用者人数と利用者の特徴
 - 4. カート関連項目(便利さ、利用の目的など)
 - 5. 電動カート利用と社会保障費との関係
- ・まとめ

2021年度調査のふりかえり



結果

- 南花台地区で2ヵ月の間に電動カートを走行し5回以上の利用者は50.8%
- 電動カート利用者は、望ましい心理・行動1-3割増えていた
- 電動カート利用者は、歩数の増加や社会保障費抑制効果は確認できなかった

結論

● 今後は、電動カートの利用を促しつつ、中長期間の走行を続けることで、 社会保障費抑制効果につながる可能性を検証する

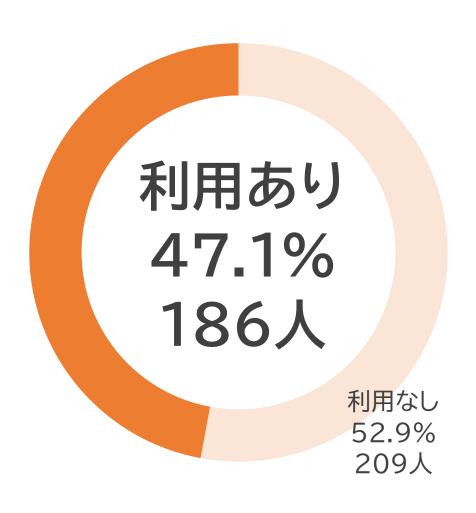
実証調査の背景・目的

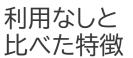
- 》 背景
 - ・ 地域における"移動"は重要です
 - ・ 移動の支援で閉じこもり・介護予防で介護費用が減るかを明らかにします
- > 目的
 - グリーンスローモビリティ(以下、電動カート)導入によって高齢者への 介護予防効果、社会保障費抑制効果がみられるかを検証することです
- > 調査期間 約2ヵ月
 - 河内長野市南花台地区:2021年10月9日~2021年12月27日

電動カートによる移動支援と健康の関係図

初期 アウト イン アウト 中間アウトカム 最終アウトカム パクト プット プット カム コミュニケーション 活性化 電動力· 死亡率 利用増 フレイル発症抑制メンタルヘルス悪化 個人 抑制 外出先・ 電 歩行量増加 社 動 会保障費用 加 社会的サポート・ 社 ネットワーク増加 要介護 会参 認定率 楽しみ・笑顔・ 抑制 生きがい増加 電動力 運営参画 導 抑 0 地域 増 制 認知症 加 ・ソーシャル・キャピタルの涵養 発症 新たなコミュニティ創出 抑制

走行期間中に1度でも電動カートを利用された方は186人(47.1%)/395人中









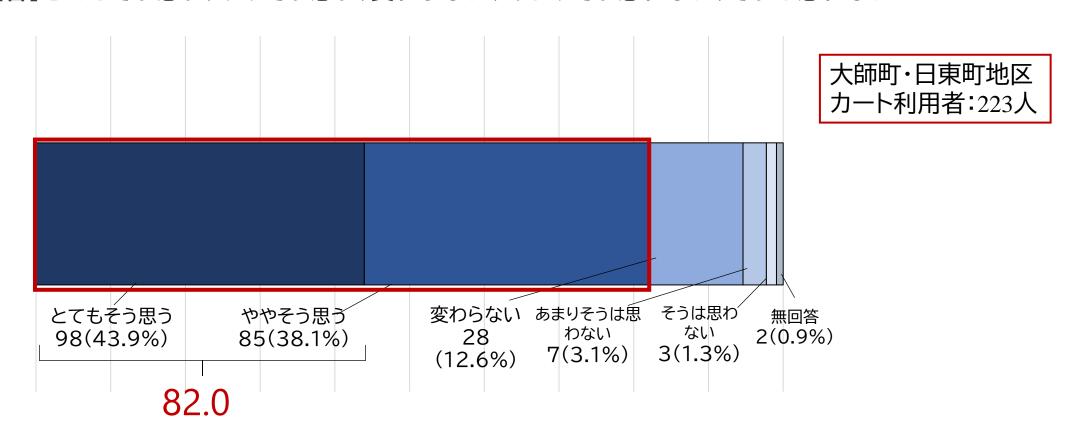






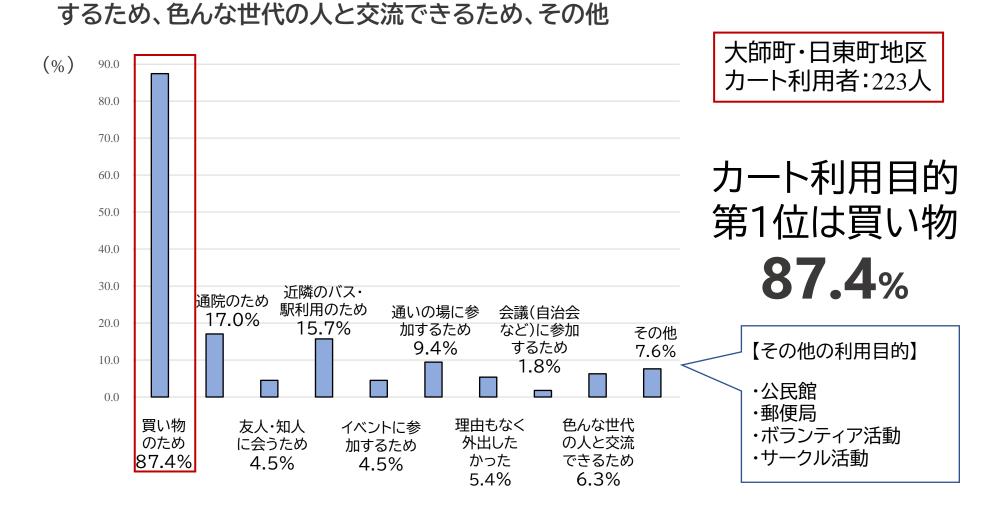
電動カートの便利さでは、カート利用者の82.0%が電動カート導入で外出が容易になった

【質問】電動カート導入により、導入前に比べて外出(買い物など)が容易になったと感じましたか 【回答】とてもそう思う、ややそう思う、変わらない、あまりそう思わない、そうは思わない



電動カートの利用目的は87.4%が買い物だった

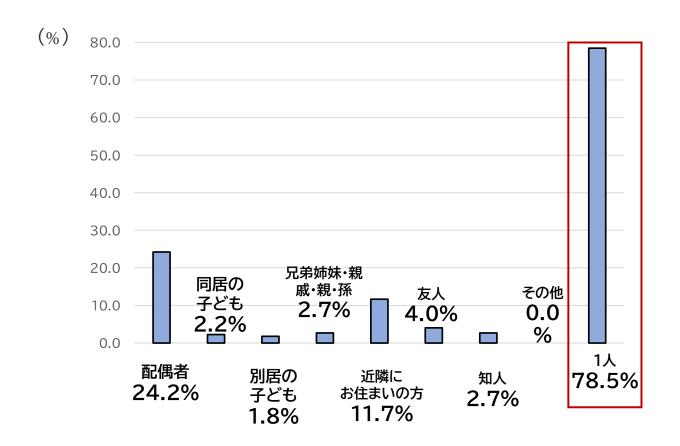
【質問】電動カートを利用した目的を教えてください。 【回答】買い物のため、通院のため、友人・知人に会うため、近隣のバス・駅利用のため、イベントに参加するため、通いの場に参加するため、理由もなく外出したかった、会議(自治体など)に参加



電動カート利用者の78.5%はひとりで利用した

【質問】電動カートはどなたと利用しましたか。

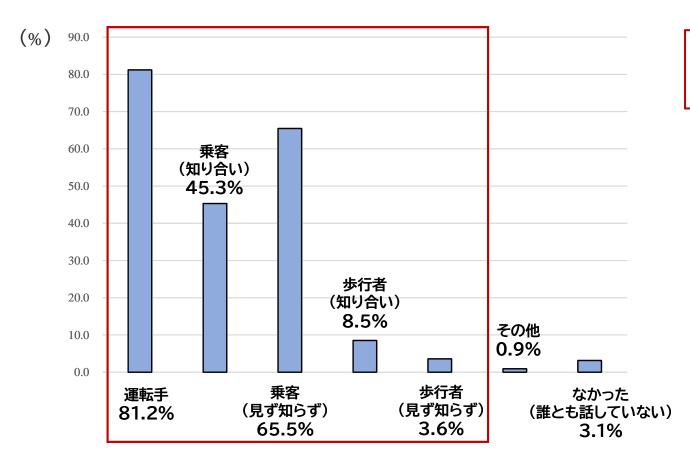
【回答】配偶者、同居の子ども、別居の子ども、兄弟姉妹・親戚・親・孫、近隣にお住まいの方、友人、知人、その他、1人



大師町・日東町地区カート利用者:223人

電動カート利用中に9割がコミュニケーションあり

【質問】電動カートを利用・運転中にどなたかとコミュニケーション(挨拶・会話など)をする機会はありましたか 【回答】運転手、乗客(知り合い)、乗客(見ず知らず)、歩行者(知り合い)、歩行者(見ず知らず)、その他、なかった (誰とも話していない)

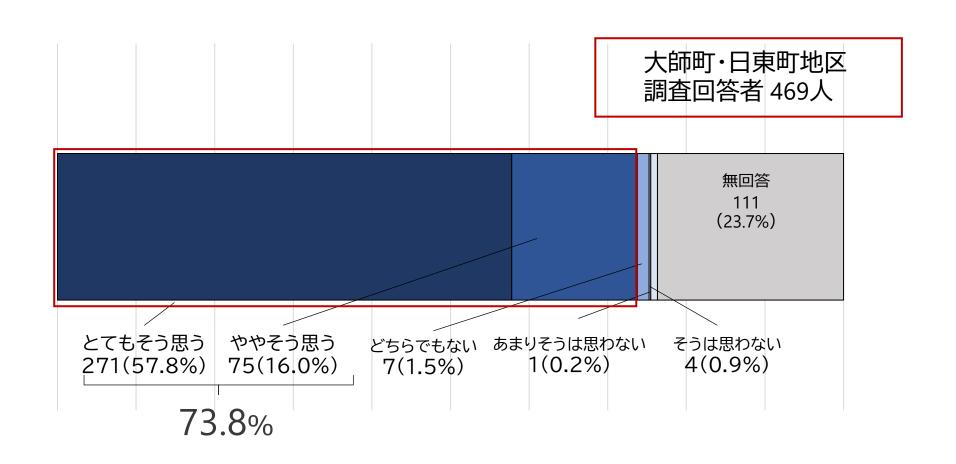


大師町・日東町地区カート利用者:223人

*7割が見ず知らずの人とも *1割が歩行者とも

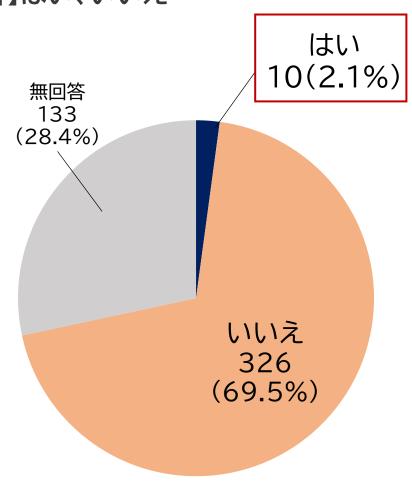
電動カートの必要度は73.8%が必要と回答した

【質問】電動カートは大師町・日東町に必要だと感じますか。 【回答】とてもそう思う、ややそう思う、変わらない、あまりそう思わない、そうは思わない



電動カートの運用への協力は2.1%だった

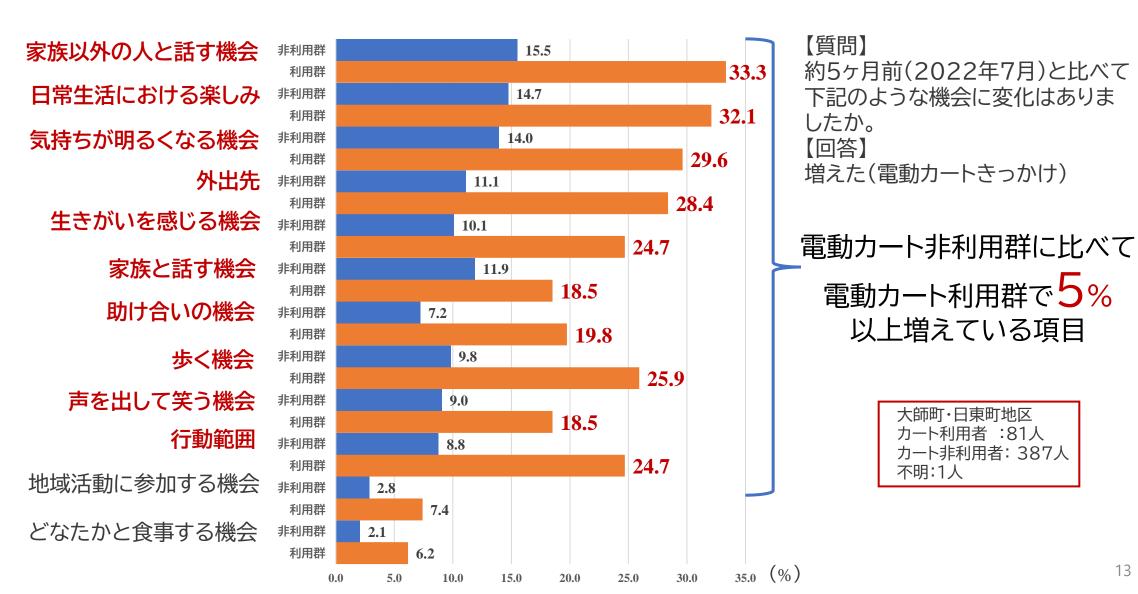
【質問】もし、地区に電動カートを本格導入した場合運転手などとして運用に関わりたい。 【回答】はい、いいえ



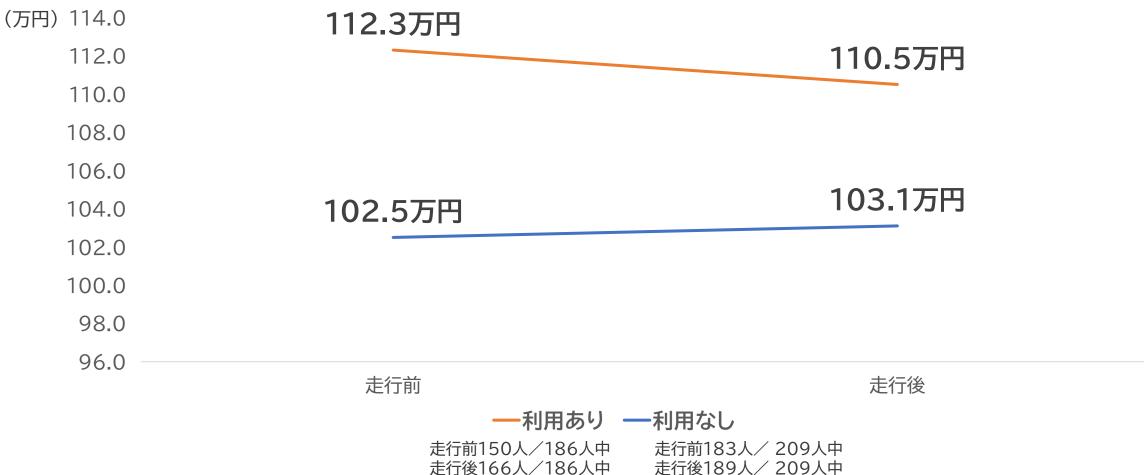
大師町·日東町地区 調査回答者 469人

電動カート運用に 関わりたい方は **10**人 (2.1%)

電動カート利用群で家族以外のひとと話す機会・日常 生活における楽しみなど望ましい心理・行動1-3割増



電動カート走行前後で6年間の推定介護給付費は電動カート利用者群でひとりあたり-1.8万円



[※]多重代入法の結果

[※]走行後リスク点数の算出にも走行前の年齢を使用

^{※17}点未満0.65万円/点、17点以上7.12万円/点で費用推計

まとめ

わかったこと

- ・ 大師町・日東町地区で6ヶ月間電動カートが走行し、1度でも利用した方は186人(47.1%)だった
- ・ 利用者の特徴は、女性・後期高齢者・退職者が多く、日常生活自立者が少ないことであった
- ・ 電動カート利用者の8割が外出が容易になったと回答した
- ・ 電動カート利用者の8割がひとりで乗車したが、9割以上は運転手や乗車客とコミュニケーションをとっていた
- ・ 電動カート利用群で家族以外のひとと話す機会・日常生活における楽しみなど望ましい心理・行動1-3割増
- ・ 電動カート走行前後で6年間の推定介護給付費は電動カート利用者でひとりあたり-1.8万円だった

課題

・ 電動カート運用に関わりたい方は10人 (2.1%)だった